

# およたま通信

Vol.37

「およたま通信」名前の由来

大曲出張所が管理している4つの河川、雄物川、横手川、玉川、丸子川の頭文字をそれぞれとって名付けました。

## 「排水ポンプ車」で豪雪対策への支援を行いました ～雄物川から流雪溝への導水・補給支援～

湯沢河川国道事務所では湯沢市からの支援要請を受け、平成25年2月9日(土)～11日(月)、豪雪対策支援の一環として湯沢市上関地区(対象家屋数約100戸)へ排水ポンプ車を出動させ、雄物川から流雪溝への導水・補給作業を行いました。

湯沢河川国道事務所では保有する排水ポンプ車は、大仙市の田町防災資材庫に2台(30t/分、60t/分)格納しており、洪水時には管内の必要な箇所に配備し住宅側にたまった水をポンプで強制的に排水する災害対策車両です。今回はこのうち1台(30t/分)が出動し対応にあたりました。

豪雪地域が少しでも過ごしやすい環境になるよう、湯沢河川国道事務所では、H17年度、H22年度の豪雪時にも支援を行っており、今回で3回目の実施となりました。



## 雄物川で「川を渡るぼんでん」が行われました

2/11(月・祝)大仙市花館地区の雄物川河川敷(全国花火競技大会会場の下流側)で、小正月行事「川を渡るぼんでん」が行われました。

この行事は男衆が色とりどりのぼんでんをかつぎ、雄物川を渡って、対岸の伊豆山神社へ奉納し、五穀豊穡、家内安全などを祈る江戸時代後期から始まったとされる伝統行事です。

梵天が川を渡るの全国的にも珍しく、今年もさまざまな意匠をこらした十数本のぼんでんが雄物川を渡りました。

